

# 平成30年度 自己評価結果公表シート

学校法人 山口高川学園

## I 学校の教育目標

一人一人の持てる才能を引き出し、様々な分野のエキスパートとして社会に貢献するため、いかなる困難にも立ち向かっていける人材を育成する。

## II 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画及び達成・取組状況

### 平成30年度 学校評価に関する教職員の自己評価

評価の項目 (対象)	評価 (回答数=64)				
	1	2	3	4	5
<b>1. 教育目標</b>					
① 生徒の学力差に応じた指導を工夫し、わかる授業の実践に努めたか。	6	39	15	0	4
② 学級担任だけでなく、組織的・計画的な進路指導により、生徒の自己実現をサポートしたか。	7	36	16	1	4
③ 「阿蘇や富士」運動を推進し、社会生活への適応力を高めさせたか。	6	25	20	1	12
④ 部活動だけでなく、ボランティア活動や地域の活動への積極的な参加を働きかけ、感動体験を通じて豊かな心を育んだか。	5	26	22	3	8
⑤ 学園生活の様子や教育活動の成果を、あらゆる機会をとらえて情報発信し、地域への浸透を図ったか。	5	34	16	1	8
<b>2. 総務</b>					
① 校内美化を通して、教育理念にある「社会に貢献できるエキスパート」に生徒を成長させたか。	4	24	30	3	3
② 環境教育の一環として、ゴミの分別や電気等の消灯を意識して行ったか。	13	29	19	1	2
③ 防災訓練の実施にあたっては、生徒にその意味を十分に理解させ、災害時において安全な行動ができるようにしたか。また、学校の安全管理を教員一丸となって取り組むため講習会等を実施したか。	6	35	19	0	4
<b>3. 広報</b>					
① 広報活動の中心となり、生徒募集に貢献したか。	13	40	7	1	3
② 迅速で、きめ細かく、時代のニーズに合ったPR活動が行えるシステムを構築したか。	8	27	20	2	7
③ 学園の魅力を最大限に発信できるイベントの企画・運営に努めたか。	8	35	15	1	5
<b>4. 営業推進</b>					
① 小・中学校及び学習塾との良好な関係を築き、より多くの受験生獲得を目指したか。	10	29	12	1	12
② 現場レベルでの広報活動の中核となり、親切丁寧な対応に心掛けたか。	9	36	9	3	7
③ 学校としての営業活動に必要なノウハウを学び、学校の更なる発展を目指したか。	6	29	19	2	8
<b>5. 教務</b>					
① 「わかる授業」を展開し、推進したか。	2	33	21	3	5
② 効果的な教育活動を推進したか。	5	25	23	4	7
③ 業務を迅速かつ正確に処理したか。	12	34	11	0	7
<b>6. 進学指導</b>					
① 進学指導において、個別面接を積極的に行い、志望校に導く適切な指導を行ったか。	18	27	11	0	8
② 進路に対する意識を入学時から計画的に育成するため、進路指導会、模擬試験、講習会や資料提供などを行ったか。	11	32	13	1	7
③ 共通テストに向けた情報の収集提供を行い、それに関する指導の充実を図ったか。	6	29	18	2	9
<b>7. 学業推進</b>					
① 学業クラスとしての実績をあげたか。(1月1月ベネッセ模試SS平均5.5)	3	25	18	4	14
② 学力を確実にあげるシステムを構築したか。	5	25	21	3	10
③ 学業クラス生としての自覚を持たせて、学習意欲を高める指導をしたか。	4	30	20	3	7
④ 分掌を超えた柔軟な活動をしたか。	7	20	20	2	15
<b>8. 就職指導</b>					
① 就職指導において、生徒の適性や能力をしっかりと把握し、適材適所100%合格を目指したか。	17	32	5	1	9
② 基本的な生活習慣を身につけさせ、即戦力となる人材を育んだか。	4	26	24	2	8
③ 担任を中心に、作文や面接指導、しつけ教育が行われるようサポートしたか。	7	36	10	1	10
<b>9. 生徒指導</b>					
① 教職員間の十分な連携のもと信頼と愛情を基盤とした生徒理解に努める生徒指導の充実を図ったか。	9	30	19	2	4
② かけがえのない命の尊さや、人間としての基本的な倫理観や規範意識を体得できるよう全教育活動を通して指導に努めたか。	5	28	26	1	4
③ いじめに関しては、教職員は早期発見に努め、その根絶をめざし、最悪の事態を想定して慎重に速やかに誠実に組織による指導を一層推進したか。	8	37	15	1	3
<b>10. 特別活動</b>					
① 特別活動行事の充実を図ったか。	13	29	13	3	6
② 部活動を通じて、礼儀や規範意識を高めたか。	19	31	9	1	4
③ 生徒会活動や応援活動を通じて、学校全体が活気にあふれるような雰囲気を作り出したか。	10	30	19	2	3
<b>11. 学級経営</b>					
<b>【高校】</b>					
① 基本的な生活習慣を確立させたか。	3	19	31	5	6
② ルールを守り、公共心を育成したか。	2	20	32	4	6
③ 社会に貢献できる豊かな人間性を育んだか。	2	30	24	1	7
<b>【中学】</b>					
① たくましく、爽やかな生徒を育成したか。	6	31	18	2	7
② かしこく、向上心に燃える生徒を育成したか。	4	23	26	3	8
③ 学校行事に全力で取り組もうとする生徒を育成したか。	11	28	14	2	9
④ 和を重んじ、楽しく学校生活を送ることのできる生徒を育成したか。	5	25	25	2	7
<b>12. 事務</b>					
① 状況に応じた判断力を向上させたか。	16	34	6	1	7
② 窓口・電話における迅速で丁寧な対応をしたか。	22	31	6	0	5
③ 会計を正確に管理したか。	21	23	3	1	16

\*評価

1 = よくできた 2 = まあまあできた 3 = あまりできなかった 4 = まったくできなかった 5 = 判断できない

## III 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

項目	結果	総合的な評価
1 教育目標	C	【総合評価】 昨年度と比べると、全体的に評価が下がっている。学業推進部においては、認知度が低かったという点を改善していかなければならない。  【保護者アンケート】 2月に実施した。中学校・高校ともに10項目の質問に対するアンケートを行った。中学校・高校ともに、昨年度と同じような評価であった。  【学校関係者評価委員会】 保護者と教員とのコミュニケーションが不足しているので、「参観日」や懇談の機会を増やして欲しいという意見があった。
2 総務	C	
3 広報	C	
4 営業推進	C	
5 教務	C	
6 進学指導	C	
7 学業推進	C	
8 就職指導	C	
9 生徒指導	C	
10 特別活動	C	
11 【高校】	C	
【中学】	C	
12 事務	B	

\*評価

A = 十分達成されている B = 達成されている C = 取り組まれているが、成果が十分でない D = 取組が不十分である